

# Conversion諸研究間の没交渉 (宗教学からみた宗教心理学)

葛西 賢太

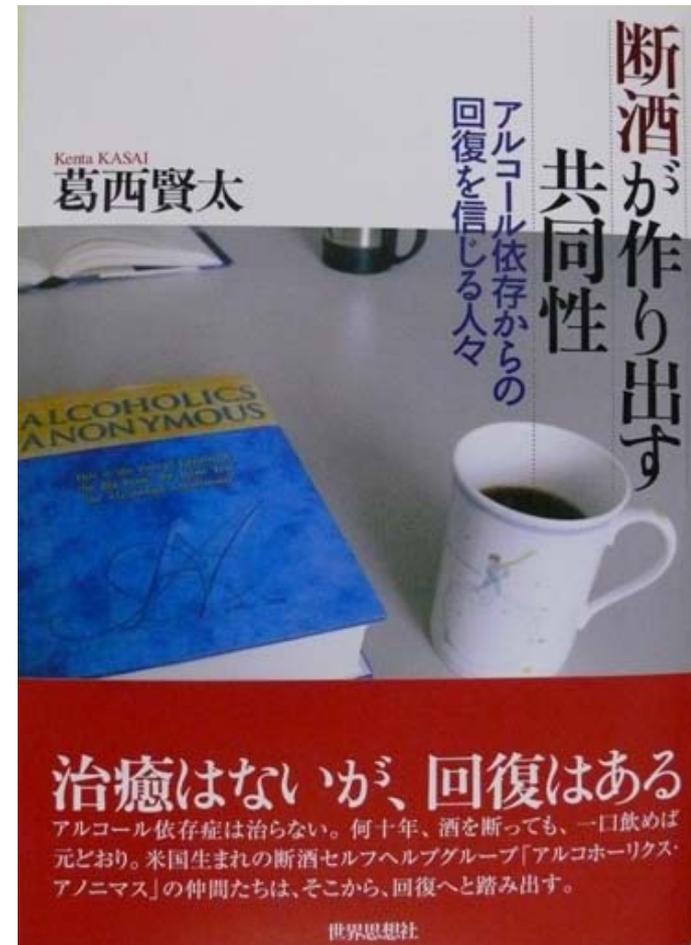
宗教情報センター研究員

<http://www.circam.jp>, [ktkasai@nifty.com](mailto:ktkasai@nifty.com)



# 葛西賢太の自己紹介

- 東大宗教学科で宗教心理学的観点からの参与観察。
- 大学教官時代、断酒自助会Alcoholics Anonymousの参与観察。...『断酒が作り出す共同性——アルコール依存からの回復を信じる人々』世界思想社、2007年。
  - 断酒＝conversion？
  - 断酒の継続≡瞑想？  
→比較瞑想研究
- この関心からconversionという古典的主題を見直す



# Conversion諸研究間の没交渉

- Waardenburgの宗教心理学学説史
  - 学際的研究を妨げる三つの壁
    1. 言語の壁（特に非-英語圏の研究の閑却）
    2. 対象宗教の壁（特に非-キリスト教）
    3. 学科の壁（特に非-心理学）
      - *International Journal of the Psychology of Religion*
      - *Journal for the Scientific Study of Religion*
- 「外」にある研究蓄積は看過されがち。  
+ 近年の主題「宗教」概念をめぐる立場のズレ



# Conversion (回心/入信/改宗/洗脳)

Conversionの包含対象、変化例。訳語にも反映。

- 回心 キリスト教信仰への目覚めとして
  - 突発性、一回起的、内面の変化と深層心理。
- 入信 社会的過程としての。60-70s
  - 宗教社会学のNRMs研究。漸次性、複数経験、人々の関わり
- 改宗 キリスト教福音派の世界伝道の研究
  - 他宗教との出会い。多文化共存、生存戦略として、意図的な改宗。取捨選択するagent。文化人類学。Hefner 1993.  
岩谷2009



# Conversion周辺の看過の例

- 洗脳/mind control カルト問題の研究
  - ←Conversion。反社会的カルトをめぐる訴訟。カルトメンバー、メンバー家族、脱会者、法律家、社会心理学、神学、宗教社会学、脳生理学？
  - 洗脳・MC概念の実効性→入会中の行為責任、脱会という変化に伴うPTSD問題に直結。カルト活動自体の問題性とは別に。
- 死にゆく過程の研究
  - Elizabeth Kübler-Ross, *on Death and Dying*, 1969(『死ぬ瞬間』) 先行研究の欠如？
  - Barney G. Glazer and Anselm L. Strauss, *Awareness of Dying*, Aldine Publishing, 1965
- 断酒とスピリチュアリティ
- 語りにより悲嘆を転化変容、という観点はこれらをつなぐ？



# 目配り、だけの問題か

- いかにして知恵を統合するか
  - armchair anthropologyの重要性？
  - 横断的な主題の明確化
  - 「宗教」概念のズレを自覚した上での学際化
- 文献
  - Jacques Warrdenburg, *Classical Approaches to the study of religion: aims, methods and theories of research*, Walter de Gruyter, 1999.
  - Robert W. Hefner, *Conversion to Christianity: historical and anthropological perspectives on a great transformation*, University of California Press, 1993.
  - 徳田幸雄『宗教学的的回心研究』未来社、2005年。
  - 岩谷彩子『夢とミメーシスの人類学』明石書店、2009年。

